

## 明第1地区

根本、小根本、岩瀬、旭ヶ丘、相模台、胡録台、緑ヶ丘、野菊野団地、みなづき、松戸新田、仲井町、稔台、吉井町八柱自治会、寒風台、京流

# 明るい福祉

## 明第1地区社会福祉協議会

## 第 73 号

令和6年3月15日  
発行・編集 広報部会  
松戸市上本郷3018-1  
明市民センター内  
電話 368-0517

## 地域で支える福祉の推進

ふれあいと支え合いのある

心豊かな福祉社会を目指して

いあいさつ

会長 川井清晶

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和6年元日に能登半島地震が発災し、新年を寿ぐ気分が一変しました。被災された方々へお見舞いを申し上げると共に、亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今回の地震では災害時における地域の繋がりの重要さも改めて認識されることとなり、地区社会福祉協議会の存在がこれからますます重要となることを痛感しております。

これからも地域の皆様が安心して暮らし続けられる社会を築くには、世代を超えてつながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会にしていかなければなりません。地域の皆様がお互いを気にかけあい、つながり、支え合う社会が地域共生社会であり、災害に強い町でもあります。

その一助として明市民センターにおいて令和7年2月2日（日）初の「ふれあい広場」を企画いたしております。その際には是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと

同じ「5類」に移行され、各々事業が実施され参加者の皆様に楽しんでいただきました。しかしインフルエンザも流行していますし、新型コロナウイルス感染症もまだまだ終息とはいかないようです。感染症に気をつけながら皆様と共に乗り切っていきたいと思えます。寒暖定まらぬ時期ですので、皆様方の無事息災を心よりお祈りいたします。



研修旅行

原子力科学の

現状と将来

2月19日（月）、明第1地区社会福祉協議会は研修として茨城県東海村の原子力科学研究所に行きました。広大な敷地の中にある研究所は国研としてわが国の原子力政策を実現するための組織の一拠点です。

この研究所の事業の一つであるJ-PARC（大強度陽子加速器施設）を見学しました。

J-PARCは、国内外の研究機関や企業などからの利用者が集まり、基礎科学から産業応用まで多様な研究、開発をしている最先端の研究施設です。

ジャンボジェット機2機を格納できる大きな施設の2階

の通路から見渡すと、様々な機器の信号が点滅し、分野ごとのブースは鮮やかな色で区分けされ、実験している人も散見されました。

緒方洪庵がガラス瓶に入れて保存していた秘薬をこの最先端技術で解明したら下剤だったという興味深いエピソードも伺いました。また2020年「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」の石や砂を地球に持ち帰ったサンプルの成分分析も行われたそうです。



現在、原子炉の核のゴミを、加速器を使って安全に処理する研究も行われているそうです。

能登半島の地震で原発に関心の高まっている現在、とてもタイムリーな企画で勉強になる研修でした。

一般の人でも事前申し込みをすれば見学できるそうです。関心のある方はどうぞ!!

### ◆お知らせ◆

令和6年3月12日（火）をもちまして契約満了の為、印刷機のサービスを終了いたしました。これまでのご利用ありがとうございました。

おめでとうございます!!  
令和5年度福祉大会は  
左記の方が表彰されました。

特別功勞(受影後10年以上の功勞)

池上紀子さん 石毛秋子さん  
梅本みな子さん 川邊千津子さん  
所容子さん 中村勲人さん  
俵木子之さん 山内幸子さん  
和田勲さん

地区社会福祉協議会評議員功勞

飯野睦夫さん 上島芳和さん  
小川一夫さん 勝又元さん  
岸沖瞭さん 木下茂太郎さん  
小泉美幸さん 小堀幸雄さん  
城塚朋和さん 鈴木一也さん  
鈴木恵治さん 橘朗子さん  
椿茂雄さん 豊田正敏さん  
松井浩子さん 柳町美恵子さん  
吉岡重光さん

ボランティア活動功勞

上石幸子さん 中村澄子さん  
星典子さん





# わが町会・自治会の

## 防犯の取り組み

### 松戸新田東町会防火防犯活動について

松戸新田東町会会長 上島 芳和

松戸新田東町会は新京成「みのり台駅」より北側證誠院(お寺)を中心に約900世帯で構成されています。

近くには八景台保育園・寒風台小学校・第六中学校があり、当町会では防犯指導員8名(60代から80代前半の方)を中心として、毎週月曜と金曜日の午前と午後1回、證誠院からスタートして寒風台小学校周り↓みのり台駅経由約1時間かけて子供たちの通学、帰宅時間帯に合わせて防犯パトロールを実施しています。

朝は子供達と「おはよう」午後は「こんにちは」「お帰らない」と挨拶を交わして、子供たちから元気をもらいながら元気にパトロールしています。年末には近隣の寒風台町会と稔台第6町会と合同で歳末警戒パトロールも実施しています。

もう直ぐ新一年生が入って来ますが子供たちが安心して通学できるように安全な「まちづくり」に貢献出来たらいいなと思っております。そして、「この街に住んでて良かった!」と思っ

てもらえたら幸いです。

今後は防犯指導員数を継続出来るか課題ですが頑張りたいと思います。



金曜日 朝のパトロール

### ボランティア部会パートナー講座

## 「もしもの時のために」

### 今始めよう人生会議

ボランティア部会長 長谷川 栄一

私たちボランティア部会は令和6年1月17日、松戸市福祉医療センター東松戸病院がん専門看護師を講師としてお招きしました。『人生会議』とは、元気なうちから、もしもの時に備えて将来の医療やケアについて本人の希望を家族、医療関係者やケアに携わる人たちを交えて話し合いを行い共有する取り組みです。

1. 今までどのような価値を大切に生きてきたか、今後どのように生きたいか
  2. 現在の身体状況
  3. 急に倒れ意志を伝えられなくなった時の代弁者は誰か
  4. 最期はどのような治療を受けたいか
  5. 話し合ったことを書き留めておく
- 受講の最後に、4人一組になり余命半年という条件下で「どのような医療を受けたいか?」「この重いテーマを36枚のカードでゲーム形式の『もしばなゲーム』を楽しみました。自分としては無意識に最良な終末医療を選んでいたと思います。そのあとチーム内でお互いに選択の理由など話し合った事はとても有意義でした。

## ボランティア講習会開催

日時 6月3日(月) 午後1時半より

会場 明市民センター第1会議室にて

生活に活かせるような講座と併せてボランティア講習会を開催します。

明第1地区社会福祉協議会がどんな活動をしているか聞いてみたい方、住み慣れた地域でなにか活動してみたい方、ぜひご参加ください。

### 問合せ

明第1地区社会福祉協議会  
047-368-0517

## わが町自慢!

### ご存知ですか?

誰でも食べた事がある玉三白玉。その歴史と川光物産の歩みを聞いてきました。

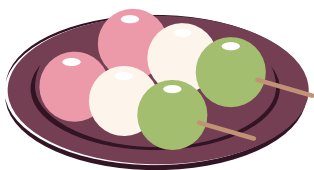
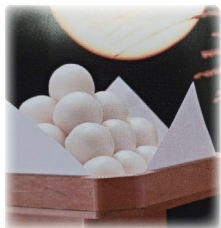
その歴史は意外に古く、室町時代、夏季の貴重な嗜好品として珍重され、江戸・元禄時代になると屋台で庶民の食べ物として広まりました。

白玉の老舗、川光物産は、松戸市根本交差点、流山街道の角にあります。

明治20年、十三代川井光之助さんが川光商店を設立し、当初は米雑穀集荷業、酒類薪炭販売業を営んでいました。

大正2年精麦業を、大正10年白玉粉製造業も併業し、現在の基礎を築きました。

昭和17年1月、個人経営を解消して、精米・精麦・白玉粉製造を主業とする現在の川光物産株式会社を創立し、新たな展開で現在に至っております。



工場長補佐 大熊さん(左)  
業務課長 向後さん(右)

白玉は、もち米が原料で、つるんとした舌触りは独自製法で作られ、色が白くて茹でたらふわっと、冷やしても固くならないなど、学校給食にも冷凍白玉が使われていることから子供たちにも工場見学を行い、白玉粉の歴史を学んでもらっています。

大昔から食べられていた白玉、今も私たちが同じものを口にしていてなんて何だかホッとしませんか。

### 誰でもできるボランティア

不要入れ歯・書き損じハガキ・使用済み手・金属アクセサリーを集めてお持ちください。

※入れ歯は熱湯洗浄後チャック付きビニール袋に入れ、市役所・市及び各地区社協に設置してある回収箱に入れて下さい。



### あとがき

桜の開花が迫ってきました。いよいよ春本番を迎えますが、4月になると新しい学校や職場に緊張感を抱いて通う方もおられることでしょう。

さて、明第1地区社会福祉協議会では年に3回広報紙「明るい福祉」を発行し、明第1地区内で行われる情報や役立ち情報を提供すべく6名の広報部員が編集作業に携わっています。

こんなことを調べて取材し掲載して欲しいとか、こんな特集を組んで欲しいとか、なんでも結構です。皆様の声を反映し、親しみを持っていただけの紙面づくりに努めたいと思いますので、ご意見ご感想をお寄せください。

神田正昭